

第2回学校運営協議会（中村小部会）議事録

日 時 令和7年10月16日(木)10:00～11:20

場 所 中井町立中村小学校

出席者 学校運営協議会委員、学校長、教頭、根岸

1. 教頭より

本日のながれについて説明

2. 校舎内見学

児童の学習の様子などを参観

3. 協 議

令和7年度 中村小学校の学校教育活動について

(学校より)

学校目標の振り返りアンケート実施(全校児童) アンケート集結果を基に分析、説明

児童の様子(学校行事、学習の様子等)について説明

身につけたい力(4つの力) 非認知能力

(委員より)

- ・PTA活動(学校行事やイベント等)を通して、先生方の考えを知ることができて良かった。
- ・PTA役員の仕事は先生との距離も縮まり、子どもにとっても安心要素になっているのではないかと思う。また、PTA常置委員がアイデアをたくさん出してくれて助かっている。
- ・地域の方々が校外学習等で協力してくださり感謝している。児童にも伝わっている。
- ・学校・家庭以外の大人(年齢層幅広く)とふれ合い良い機会となっている。児童も喜んでいる。また、子どもたちを喜ばせたいと思ったださっていることが有難い。
- ・地域の方々に今後もアプローチしていきながら、学校を知ってもらいたい。
- ・田んぼの学習(稲作体験)が継続(後継者)できて良かった。当初はどこに相談すればよいか迷ったが、町役場からJA青年部へと繋いでもらえた。
- ・コロナ禍で学校と地域が離れていたが、少しずつ戻ってきているように感じる。
- ・コロナで中止になったものが、そのままになっているものもある。時代的なこともある。
- ・地域の方も学校を応援したい気持ちがある。学校と地域、お互い思っているがなかなかつながらない。ジレンマがある。地域との関わりが、子どもの育ちにも繋がる。
- ・応援隊は増えてきてはいるが、社会教育委員が中心となっている。学校応援隊の人材を集めたい。アピールの仕方を考えたい。
- ・学校と地域のつなげ方が分からない。
- ・地域と学校をつなぐ役割は、町役場では生涯学習課が担っている。学校の要望に応じて動くこともできる。
- ・地域と子どものつながりが無くなっている(子どもの声が聞こえない、目に触れない現実)。それぞれ思いがあり、いろいろと企画運営しているが、分断されていてもったいない。
- ・ICTも含め、教育環境は整っていて、恵まれている。町民にもっと見てもらい、理解しても

らう機会が必要。

- ・子どもたちには一人で生きていく力をつけさせたい。過保護になりすぎてはいけないと思う。
- ・目に見えないもの(学力もその一つ)、めざすもの等、より具体的に伝えていくことが大切。

4. 学校評価について

12月実施 1月分析 2月報告・検討→まとまった後、ホームページにも掲載

5. 今後の行事

11月6日(木) 芸術鑑賞「サイエンスマジックショー」(町予算) 他

6. その他

施設整備計画の事後評価について

南校舎長寿命化改修実施報告

連 絡

第3回 令和8年2月12日(木) 10:00~11:20を予定 場所 中村小学校